

水循環アドバイザー制度について

内閣官房 水循環政策本部事務局
令和3年7月



水循環ロゴマーク

- 流域マネジメントに取り組む、又は取り組む予定の地方公共団体等からの求めに応じ、知識や経験を有するアドバイザーの現地派遣やオンライン会議を通じて、流域水循環計画の策定・実施に必要な技術的な助言・提言等を行うことを目的として、令和2年度に「水循環アドバイザー制度」を創設。

支援の流れ

内閣官房 水循環政策本部 事務局

- 申請書の内容を審査し、支援の決定を通知。
- 申請書を踏まえ、水循環アドバイザーの候補を選定し、地方公共団体と調整）。

水循環アドバイザーを
決定

地方公共団体等から
支援を申請

水循環アドバイザー

- 流域マネジメントに関して一定の知識を有する有識者や地方公共団体の職員等



現地派遣やオンライン
会議による助言・
提言、情報提供等

※現地派遣は最大3日以内、
オンライン会議は最大10時間以内

地方公共団体等
(流域水循環協議会及び
その構成員を含む)

- ・解決困難な課題が発生
- ・知見や助言が必要 等

- ・ 流域水循環協議会の設立、運営
- ・ 関係者間の合意形成
- ・ 課題や目標の設定
- ・ 地域や住民の関わり方
- ・ 専門的な知見や経験 等

- 課題の解決、知見の習得等により、流域マネジメントの取組の更なる展開と質の向上に貢献。



令和2年度に行った水循環アドバイザーによる支援の実施結果の概要

秋田県にかほ市

- 1. 形式: 会議(中村准教授はオンラインで参加)
- 2. 内容: にかほ市版水循環計画の策定にあたり、水を活かした地域振興策の具体化に向けて、水循環再生への取り組みスキーム、住民参加についてのアドバイス、教育的視点の取り込み等の「地域の水の広報・普及啓発」への助言
- 3. 水循環アドバイザー: 名古屋大学准教授 中村 晋一郎 氏



オンライン会議

高知県高知市

- 1. 形式: オンライン会議
- 2. 内容: 関係人口の考え方、全国の自然資本を活用した取組、関係人口・流域関係人口に係る事例等の紹介を通じて、鏡川流域の自然や人と良好に関係していく人材や取組、コミュニティの育て方について助言
- 3. 水循環アドバイザー: 株式会社sotokoto online代表取締役 指出 一正 氏



オンライン会議

沖縄県八重瀬町

- 1. 形式: 現地派遣、オンライン会議
- 2. 内容: 流域水循環協議会の設立や行動計画の策定を行う過程で、関係者間の合意形成を図るまでのプロセスへの助言
- 3. 水循環アドバイザー: 東京学芸大学教授 吉富 友恭 氏
熊本県熊本市 永田 努 氏
神奈川県秦野市 谷 芳生 氏
宮崎県都城市 軸園 裕介 氏



現地派遣



オンライン会議

令和3年度の支援のスケジュール

○ 令和3年度は、5月末から募集を開始。今後、要請内容に応じて水循環アドバイザーの派遣者を調整し、7月以降順次派遣。

時期	支援の流れ	備考
5月 ～7月	 <p>支援の申請</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方公共団体等から支援の申請 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再募集
7月～	 <p>支援の調整・決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 要請内容に応じて、申請団体に水循環アドバイザーの候補を提示(必要に応じて、申請団体及び候補者と調整)。 ・ 調整が完了次第、順次、事務局が申請団体に決定通知を発出。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援先決定 ・ 再募集、支援先の追加
～3月	 <p>支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 申請団体が水循環アドバイザーと支援の詳細(日程、支援内容、会議形式等)について調整・決定。 ・ 申請団体から事務局に支援の日程、会議形式等を報告。 ・ 申請団体が支援の結果を事務局に報告。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の感染状況等を見ながら、支援の詳細を検討